PENTAX



PENTAX REMOTE Assistant™ 3

（バージョン3.5）

使用説明書









はじめに

このたびは、ペンタックス・デジタルカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は、本製品をパソコンから操作、設定するためのソフトウェア「PENTAX REMOTE Assistant 3」の説明書です。本製品および「PENTAX REMOTE Assistant 3」の機能を十分活用していただくために、ご使用になる前に別冊のカメラ使用説明書および本書をよくお読みください。
また、カメラ使用説明書および本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

本製品を使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

商標について

PENTAXおよびペンタックス、smc PENTAXはペンタックス株式会社の登録商標です。
PENTAX PHOTO Browser、PENTAX PHOTO Laboratory、PENTAX REMOTE Assistant はペンタックス株式会社の商標です。
MacintoshまたはMac OSは、Apple Inc.の商標です。
SDロゴおよびSDHCロゴは商標です。
この製品はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の許可のもと、DNG技術を取り入れています。
DNGロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

免責事項

- お客様が本ソフトウェアをご使用になることによって発生した直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得られるべき利益の損失、および本ソフトウェアに起因する第三者との係争等に対し、いかなる場合においても当社は一切責任を負わないものとします。
- 本ソフトウェアの仕様は予告無く変更されることがあります。

● 本書で使用されている表記の意味は次のようになっています。

メモ	知っておくと便利な情報などを記載しています。
注意	操作上の注意事項などを記載しています。

本文中のパソコンの画像表示は、パソコンの種類によって異なる場合があります。

目次

付属ソフトウェアについて

K20D付属のCD-ROM（S-SW75）には、次のソフトウェアが含まれています。
• PENTAX REMOTE Assistant 3



本書では、PENTAX REMOTE Assistant 3について、Windows XP環境で使用するときの画面で説明しています。
Macintoshでお使いの場合、操作はほぼ同じですがキー操作などが若干異なります。違いについては「Macintoshの場合」「Macintosh版では」と書かれた補足説明、またはオンラインヘルプをご覧ください。

付属のソフトウェアのご紹介

PENTAX REMOTE Assistant 3

（9言語対応：英・仏・独・西・伊・露・中［繁体字／簡体字］・韓・日）
PENTAX REMOTE Assistant 3は、パソコンとUSB経由で接続したペンタックス・デジタル一眼レフカメラ（K10DおよびK20D）を、パソコンから操作、設定するためのソフトウェアです。
カメラでの撮影・設定操作と同等の操作を行えるほか、バルブタイマー撮影でのコンポジット（画像の重ね合わせ）など、カメラには搭載されていない撮影機能を利用することもできます。
また、PENTAX REMOTE Assistant 3を使って撮影した画像は、カメラではなくパソコンに直接保存されるため、撮影後に画像をパソコンに転送する手間かからない点や、カメラのメモリ容量を気にせず撮影が行える点も、PENTAX REMOTE Assistant 3を使用するメリットです。

システム環境について

PENTAX REMOTE Assistant 3をインストールし、パソコンからカメラを操作したり設定したりするには、次のシステム環境が必要です。

Windowsのシステム環境

- OS　Windows XP（Home Edition、Professional、x64 Edition）SP2以降／Windows Vistaがプリインストールされたパソコン（USB 2.0ポートが標準で搭載されていること）
- CPU　Pentium 4以上（Pentium 4　2.0GHz以上を推奨）
- メモリ　512MB以上
- モニタ　1024×768以上
- ハードディスクの空容量　250MB以上（500MB以上を推奨）



カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプター（別売）のご使用をお勧めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れたり、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。

Macintoshのシステム環境

- OS　Max OS X10.3.9以降がプリインストールされたMacintosh（USB 2.0ポートが標準で搭載されていること）
- CPU　PowerPC G4 1GHz以上（Universal Binary対応）
- メモリ　512MB以上
- モニタ　1024×768以上
- ハードディスクの空容量　250MB以上（500MB以上を推奨）



カメラをパソコンに接続するときには、ACアダプター（別売）のご使用をお勧めします。画像の転送中に電池が消耗すると、画像データが壊れたり、SDメモリーカードが破損する恐れがあります。

ソフトウェアをインストールする

PENTAX REMOTE Assistant 3をインストールします。
以前のバージョンのPENTAX REMOTE Assistant 3がすでにインストールされているパソコンにインストールする場合は、そのまま上書きインストールしてください。
また、*istDとPENTAX REMOTE Assistantの組み合わせを引き続きご使用になる場合は、PENTAX REMOTE Assistantをアンインストールせずに、PENTAX REMOTE Assistant 3をインストールしてください（共存可能です）。
ご使用のOSがWindows XP/Windows VistaまたはMac OS Xで複数アカウントを設定している場合は、administrator（管理者）権限でログオンしてからインストールを始めてください。

Windowsをご使用の場合

1 パソコンの電源をオンにする

他に起動しているソフトがあれば、終了させてください。

2 付属のCD-ROM（S-SW75）をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。

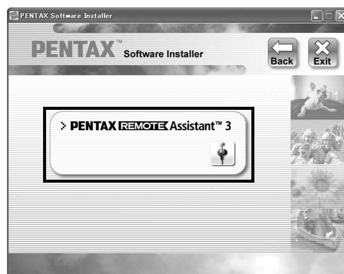
- **「PENTAX Software Installer」の画面が表示されない場合**
  以下の手順で「PENTAX Software Installer」の画面を表示させます。
  1) スタートメニューから「マイコンピュータ」をクリックする
  2)「CD-ROMドライブ（S-SW75）」のアイコンをダブルクリックする
  3)「Setup.exe」のアイコンをダブルクリックする

3 「日本語」をクリックする

インストールするソフトウェアの選択画面が表示されます。



4 「PENTAX REMOTE Assistant」をクリックする



5 言語選択ウィンドウで日本語「Japanese（日本語）」を選択し、［OK］ボタンをクリックする

その他の言語でインストールする場合は、インストールする言語を選択してください。





ご使用のパソコン環境によっては、言語の選択は自動的に行われる場合があります。その場合は手順**6**のインストーラーが起動しますので、そのままインストールを進めてください。

6 日本語インストーラーが起動したら、［次へ］ボタンをクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



Macintoshをご使用の場合

1 Macintoshの電源をオンにする

他に起動しているソフトがあれば、インストールの前に終了させてください。

2 付属のCD-ROM（S-SW75）をMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

3 CD-ROM（S-SW75）のアイコンをダブルクリックする

CD-ROMの内容が表示されます。



4 「PENTAX Installer」のアイコンをダブルクリックする

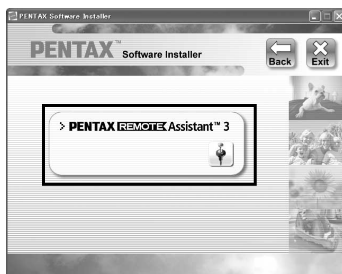
画面上に「PENTAX Software Installer」の画面が表示されます。



5 インストール先のOSを選択する

6 「PENTAX REMOTE Assistant」をクリックする

画面の指示に従って、インストールを進めてください。



PENTAX REMOTE Assistant 3

PENTAX REMOTE Assistant 3の起動方法と終了方法、PENTAX REMOTE Assistant 3メインパネルの見方とその機能について説明します。

パソコンとカメラを接続する

PENTAX REMOTE Assistant 3を使用する場合は、カメラに付属のUSBケーブルを使って、パソコンとカメラを接続してください。（p.19）
パソコンとカメラを接続してからPENTAX REMOTE Assistant 3を起動するか、PENTAX REMOTE Assistant 3の起動中にパソコンとカメラを接続すると、PENTAX REMOTE Assistant 3がカメラを認識し、PENTAX REMOTE Assistant 3の機能が使えるようになります。
パソコンとカメラが接続されていない状態でPENTAX REMOTE Assistant 3を起動しても、PENTAX REMOTE Assistant 3の機能を使うことはできません。



- パソコンとカメラを接続している間は、オートパワーオフは働きません。
- パソコンとカメラを接続してPENTAX REMOTE Assistant 3を長時間使用する場合は、ACアダプターのご使用をお勧めします。
- K10DでPENTAX REMOTE Assistant 3を使用する場合は、カメラのファームウェアをVersion 1.20以上にアップデートしてください。ファームウェアアップデートの詳細については、http://www.pentax.co.jp/japan/support/を参照してください。

PENTAX REMOTE Assistant 3を起動する

Windowsの場合

1 デスクトップ画面でスタートメニューを選択する

2 「すべてのプログラム」から「PENTAX Digital Camera Utility」の中の「PENTAX REMOTE Assistant 3」を選択する



PENTAX REMOTE Assistant 3が起動し、メインパネルが表示されます。

● PENTAX REMOTE Assistant 3を終了するには

メインパネルの「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

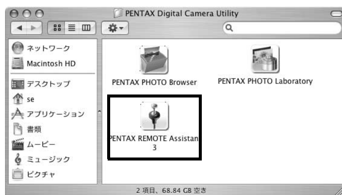


「USERモード登録」ダイアログおよび「カスタムファンクション」ダイアログで設定した内容は、パソコンに保存できます。PENTAX REMOTE Assistant 3を終了する前に、必要に応じて保存してください。（p.43、p.45）

Macintoshの場合

1 ハードディスク上の「アプリケーション」の中の「PENTAX Digital Camera Utility」フォルダをダブルクリックする

2 「PENTAX REMOTE Assistant 3」のプログラムアイコンをダブルクリックする



PENTAX REMOTE Assistant 3が起動し、メインパネルが表示されます。

● PENTAX REMOTE Assistant 3を終了するには

デスクトップ上部のメニューバーで、「PENTAX REMOTE Assistant 3」メニューの「PENTAX REMOTE Assistant 3の終了」を選択します。



「USERモード登録」ダイアログおよび「カスタムファンクション」ダイアログで設定した内容は、パソコンに保存できます。PENTAX REMOTE Assistant 3を終了する前に、必要に応じて保存してください。（p.43、p.45）

PENTAX PHOTO Browser 3から起動する

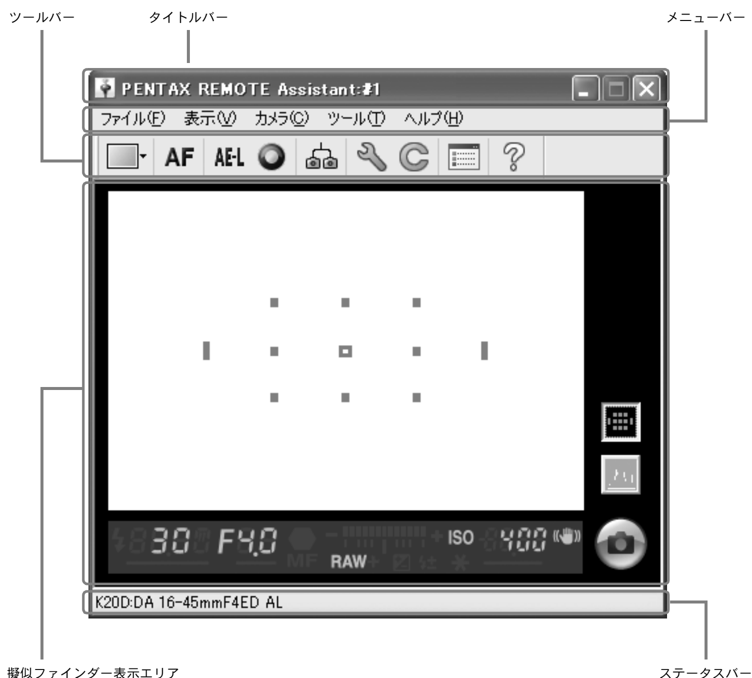
PENTAX PHOTO Browser 3の「ツール」メニュー→「PENTAX REMOTE Assistant」→「PENTAX REMOTE Assistant 3」を選択します。
または、PENTAX PHOTO Browser 3のツールバーで をクリックし、ドロップダウンメニューから「PENTAX REMOTE Assistant 3」を選択します。
PENTAX REMOTE Assistant 3が起動し、メインパネルが開きます。



- PENTAX REMOTE Assistant 3が正しくインストールされていない場合は、PENTAX PHOTO Browser 3の「ツール」メニュー→「PENTAX REMOTE Assistant」はグレー表示され、選択できません。その場合は、PENTAX REMOTE Assistant 3をインストールし直してください。
- *istDをお使いの場合は、*istD用のPENTAX REMOTE Assistant（Ver.1）が正しくインストールされていれば、PENTAX PHOTO Browser 3から起動し、使用することができます（「ツール」メニュー→「PENTAX REMOTO Assistant」またはツールバーの から、「PENTAX REMOTE Assistant」を選択）。ただし、PENTAX REMOTE Assistant Ver.1は、*istDでのみお使いいただけます。
  ツールバーの をクリックすると、ドロップダウンメニューで選択されているバージョンが起動します。

メインパネルの構成

ここでは、PENTAX REMOTE Assistant 3のメインパネルの構成とそれぞれの構成要素の役割について説明します。





- パソコンにカメラを複数台接続している場合は、カメラ1台につき1枚のメインパネルが開きます。
- それぞれのメインパネルには、タイトルバーにカメラのボディ番号が、ステータスバーにカメラの機種名と装着レンズ名が表示されます。（p.12、p.14）

タイトルバー

タイトルバーには、そのメインパネルと対応するカメラのボディ番号が表示されます。カメラのボディ番号は、PENTAX REMOTE Assistant 3の「ボディ番号設定」ダイアログを使ってカメラに割り当てることができます。（p.21）

メニューバー

PENTAX REMOTE Assistant 3からのカメラの撮影操作やカメラの設定を行います。また、PENTAX REMOTE Assistant 3の設定変更にも用います。（p.15）

ツールバー

メニューに用意された機能のうち、よく使われる機能がボタンアイコンとして並べられています。クリックするか、ドロップダウンリストから選択することで、機能の呼び出しや実行ができます。（p.17）

擬似ファインダー表示エリア

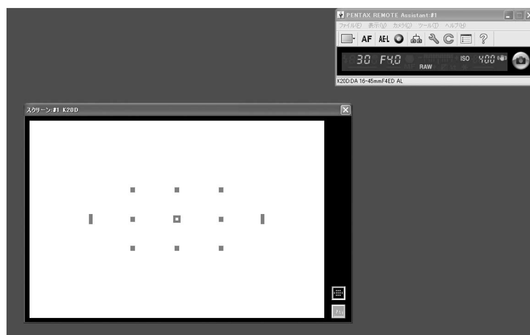


PENTAX REMOTE Assistant 3から撮影を行うと、擬似ファインダースクリーンに撮影された画像が表示されます。
PENTAX REMOTE Assistant 3から撮影を行うためのリモートレリーズボタンも配置されています。（p.28）
また、以下の撮影情報を表示できます。

AFエリア指標	AFエリア表示ボタンをオンにするとAFエリア指標がグレーで表示されます。また、カメラのAFモードが**SEL**の場合は、マウスクリックでAFエリアを指定できるようになります。 ピントを合わせると測距点が赤く表示されます。
ヒストグラム	ヒストグラムボタンをオンにすると、擬似ファインダースクリーンで直前にプレビューした画像のヒストグラムが表示されます。
ファインダー内の撮影情報	接続しているカメラと同じ内容のファインダー内の撮影情報が表示されます。
チェック画像	チェック画像ペインを表示／非表示にします。



擬似ファインダースクリーンはメインパネルから分離することができます（「表示」メニュー→「スクリーンの分離表示」を選択）。(p.15)



分離した擬似ファインダー右上の をクリックすると、メインパネルに統合することができます。

ステータスバー

接続中のカメラの機種名と、装着中のレンズ名が表示されます。

メニューバー

PENTAX REMOTE Assistant 3の機能の実行や各種設定を行います。
Macintosh版ではメニューはデスクトップ上部に表示されます。

「ファイル」メニュー	
シングル撮影モード	PENTAX REMOTE Assistant 3から撮影するとき、1枚撮影するごとに保存場所を指定するモードに切り換わります。（p.26）
バッファ選択モード	PENTAX REMOTE Assistant 3から撮影するとき、複数枚の画像を撮影してからまとめて保存したり、保存する画像を指定できるモードに切り換わります。（p.26）
自動保存モード	PENTAX REMOTE Assistant 3から撮影するとき、撮影した画像があらかじめ設定しておいた保存場所に自動的に保存されるモードに切り換わります。（p.26） 保存場所は、「ツール」メニュー→オプションで設定します。（p.51）
切断	カメラとの接続が切断され、メインパネルが閉じます。
終了	パソコンに接続されているすべてのカメラが切断され、PENTAX REMOTE Assistant 3が終了します。（p.9）

「表示」メニュー	
ファインダー情報の詳細表示	メインパネルの擬似ファインダースクリーンを詳細表示にします。擬似ファインダースクリーンとAFエリア表示ボタン、ヒストグラムボタンが表示されます。（p.13）
ファインダー情報の簡易表示	メインパネルの擬似ファインダー表示エリアを簡易表示にします。擬似ファインダースクリーンとAFエリア表示ボタン、ヒストグラムボタンは表示されず、ファインダー内の撮影情報のみ表示されます。（p.13）
スクリーンの分離表示	メインパネルから、擬似ファインダー表示エリアを独立させます。メインパネルは、「表示」メニュー→「ファインダー情報の簡易表示」を選択した場合と同じ構成になります。「ファインダー情報の詳細表示」を選択しているときに分離表示することができます。
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。（p.17）
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。（p.14）
撮影条件パネル	「撮影条件パネル」の表示／非表示を切り替えます。（p.30）
ボディ切り替え	パソコンに複数のカメラが接続されているとき、PENTAX REMOTE Assistant 3で操作するカメラをサブメニューから選択します。（p.20）
ウィンドウの整列	表示中のパネルを整列します。

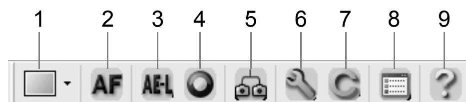
「カメラ」メニュー	
レリーズ	カメラのシャッターを切ります。カメラのシャッターの動作は、PENTAX REMOTE Assistant 3の設定に準じます。露出モードが**B**（バルブ）のとき、またはドライブモードが⧉（連続撮影）のときは、「オプション」ダイアログでレリーズロック機能を設定することができます。（p.53）
AF実行	カメラのAF機能を作動させます。
AEロック	カメラのAEロックをオン/オフします。
グリーンボタン	カメラの設定状態に応じて、カメラのグリーンボタンを押したのと同じ働きをします。
マニュアルホワイトバランス測定	「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログを表示します。（p.48）
詳細設定	「詳細設定」ダイアログを表示します。（p.40）
カメラ日時設定	「カメラ日時設定」ダイアログを表示します。（p.40）
USERモード登録	「USERモード登録」ダイアログを表示します。（p.43）
カスタムファンクション	「カスタムファンクション」ダイアログを表示します。（p.45）

「ツール」メニュー	
拡張撮影	サブメニューから、「インターバル/タイマー」「バルブタイマー」の各拡張撮影を実行できます。（p.34）（p.36）
レリーズ連動	オンにすると、他のオンにしたカメラとレリーズ動作が連動します。
ボディ番号設定	「ボディ番号設定」ダイアログを表示します。（p.21）
オプション	「オプション」ダイアログを表示します。（p.51）

「ヘルプ」メニュー	
PENTAX REMOTE Assistantヘルプ	ヘルプウィンドウを表示します。
バージョン情報	PENTAX REMOTE Assistant 3のバージョン情報を表示します。

ツールバー

ここでは、PENTAX REMOTE Assistant 3のツールバーの構成と操作方法について説明します。



ツールバーの表示／非表示

ツールバーが表示されていない場合は、「表示」メニュー→「ツールバー」を選択します。「表示」メニュー→「ツールバー」の左側に ☑ が付き、メインパネルにツールバーが表示されます。

ツールバーが表示されている場合は、「表示」メニュー→「ツールバー」を選択すると ☑ が消え、ツールバーがメインパネルに表示されなくなります。

アイコンの説明

ツールバーを構成する各アイコンについて、左から順に説明します。

番号	アイコン（ボタン）	内容
1	シングル撮影モード(S) バッファ選択モード(B) 自動保存モード(A) [保存モード]	PENTAX REMOTE Assistant 3から撮影するときの保存モードを、ドロップダウンリストの「シングル撮影モード」「バッファ選択モード」「自動保存モード」から選択します。 「ファイル」メニュー→「シングル撮影モード」、「バッファ選択モード」または「自動保存モード」を選択するのと同じです。（p.26）
2	AF [AF実行]	カメラのAF機能を作動させます。 「カメラ」メニュー→「AF実行」を選択するのと同じです。
3	AE-L [AEロック]	カメラのAEロックをオン/オフします。 「カメラ」メニュー→「AEロック」を選択するのと同じです。

番号	アイコン（ボタン）	内容
4	［グリーンボタン］	カメラの設定状態に応じて、カメラのグリーンボタンを押したのと同じ働きをします。 「カメラ」メニュー→「グリーンボタン」を選択するのと同じです。
5	［レリーズ連動］	オンにすると、他のカメラのメインパネルでレリーズしたときに同時にレリーズされます。 「ツール」メニュー→「レリーズ連動」を選択するのと同じです。
6	［詳細設定］	「詳細設定」ダイアログを表示します。 「カメラ」メニュー→「詳細設定」を選択するのと同じです。（p.40）
7	［カスタム ファンクション］	「カスタムファンクション」ダイアログを表示します。 「カメラ」メニュー→「カスタムファンクション」を選択するのと同じです。（p.45）
8	［オプション］	「オプション」ダイアログを表示します。 「ツール」メニュー→「オプション」を選択するのと同じです。（p.51）
9	［ヘルプ］	ヘルプウィンドウを表示します。 「ヘルプ」メニュー→「PENTAX REMOTE Assistant ヘルプ」を選択するのと同じです。

パソコンとカメラの接続

ここでは、パソコンとカメラの接続について説明します。

カメラを接続する

PENTAX REMOTE Assistant 3を使用する場合は、カメラに付属のUSBケーブルを使って、パソコンとカメラを接続してください。

パソコンとカメラを接続してからPENTAX REMOTE Assistant 3を起動するか、PENTAX REMOTE Assistant 3の起動中にパソコンとカメラを接続すると、PENTAX REMOTE Assistant 3がカメラを認識し、PENTAX REMOTE Assistant 3の機能が使えるようになります。

パソコンとカメラが接続されていない状態でPENTAX REMOTE Assistant 3を起動しても、PENTAX REMOTE Assistant 3の機能を使うことはできません。

PENTAX REMOTE Assistant 3では、1台のカメラだけでなく、複数台のカメラを認識し、操作することができます。複数台のカメラを接続している場合は、接続したカメラごとにメインパネルが開きます。



- パソコンとカメラを接続している間は、オートパワーオフは働きません。
- パソコンとカメラを接続してPENTAX REMOTE Assistant 3を長時間使用する場合は、ACアダプターのご使用をお勧めします。

1台だけ接続する

パソコンのUSBポートとカメラのUSB／VIDEO端子を、カメラに付属のUSBケーブルで接続します。

複数台接続する

パソコンに複数のUSBポートが装備されている場合は、各USBポートに1台ずつカメラを接続します。
パソコンにUSBポートがひとつしか装備されていない場合は、USBハブを使って複数のカメラを接続します。



- USBハブの機種によっては、正常に接続できない場合があります。
- PENTAX REMOTE Assistant 3が保証する接続台数は、4台までです。それ以上の台数のカメラを接続した場合は、PENTAX REMOTE Assistant 3がカメラを正常に認識しない場合または正常に動作しない場合があります。

操作するカメラを切り替える

パソコンに複数台のカメラを接続している場合は、「表示」メニュー→「ボディ切り替え」のサブメニューから、操作・設定したいカメラを選択します。



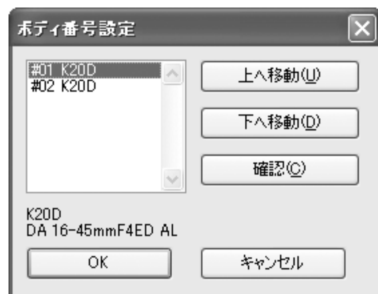


- 各カメラのボディ番号は、「ボディ番号設定」ダイアログで設定・確認できます。（p.21）
- 各カメラに設定されたボディ番号は、カメラの表示パネルにも表示されます。

「ボディ番号設定」ダイアログ

「ボディ番号設定」ダイアログを表示すると、各カメラのボディ番号および「表示」メニュー→「ボディ切り替え」のサブメニューに表示される順番を変更することができます。

「ボディ番号設定」ダイアログを表示するには、「ツール」メニュー→「ボディ番号設定」を選択します。



リストボックス内には、現在接続中のカメラが、「表示」メニュー→「ボディ切り替え」のサブメニューと同じ順番でリスト表示されます（ボディ番号に欠番がある場合は、「-----」が表示されます）。ボディ番号が「#01」のカメラがマスターとして扱われます。

リストからカメラを選択すると、そのカメラの機種名と装着中のレンズ名が、リストボックスの下に表示されます。

指定したカメラを確認する

リストからカメラを選択し、[確認] ボタンをクリックすると、選択されたカメラのセルフタイマーランプが点灯します。ボディ番号とカメラの対応を確認できます。

「ボディ切り替え」リストの表示順を変更する

リストからカメラを選択し、[上へ移動]または[下へ移動]ボタンをクリックします。選択したカメラの表示順が上下に移動し、移動に応じてボディ番号も変更されます。
[OK]ボタンをクリックすると、カメラの順番の変更が保存され、「表示」メニュー→「ボディ切り替え」のサブメニューの表示順にも反映されます。



- [キャンセル]ボタンをクリックすると、カメラの表示順とボディ番号の変更が無効のままダイアログを閉じます。
- 一度設定したボディ番号は保存されるので、次回接続したときも同じ番号で接続されます。新しくカメラを追加したときに、「ボディ番号が重複しています。仮番号を設定の上、ボディ番号設定ダイアログを表示します。」とメッセージが表示された場合は、自動的にボディ番号が設定し直されます。その場合は、「ボディ番号設定」ダイアログでボディ番号を確認の上、適宜設定し直してください。

撮影

ここでは、PENTAX REMOTE Assistant 3を使った撮影について説明します。撮影を行う前に、「撮影の準備」と「保存モード」について、必ず確認してください。

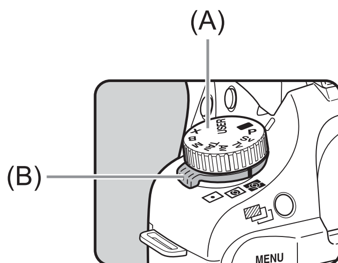
撮影の準備

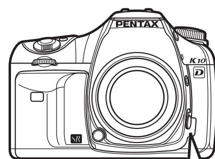
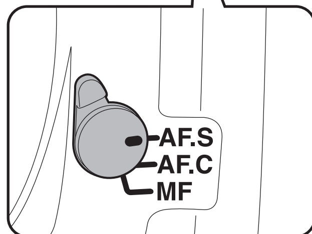
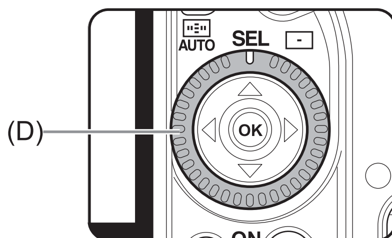
PENTAX REMOTE Assistant 3を使って撮影を行うときは、パソコンとカメラを接続するのに加え、以下の準備と確認を行ってください。

カメラ側の設定

以下の項目は、カメラ本体のダイヤルやボタンで設定するため、PENTAX REMOTE Assistant 3では設定できません。撮影を開始する前に、カメラ側で設定してください。

露出モード	カメラのモードダイヤル（A）で切り替えます。
測光方式	カメラの測光モードレバー（B）で切り替えます。



フォーカスモード	カメラのフォーカスモードレバー（C）で切り替えます。	  (C)
ピント合わせ位置（測距点）モード	カメラの測距点切替ダイヤル（D）で設定します。	



- 上記4項目のカメラ側での設定は、「撮影条件パネル」に表示されます。（p.30）
- カメラのモードダイヤルがUSERの場合は、PENTAX REMOTE Assistant 3の「撮影条件パネル」から露出モードを選択することができます。（p.30）

注意すること

PENTAX REMOTE Assistant 3を使って撮影を行う場合は、以下の点にも注意してください。

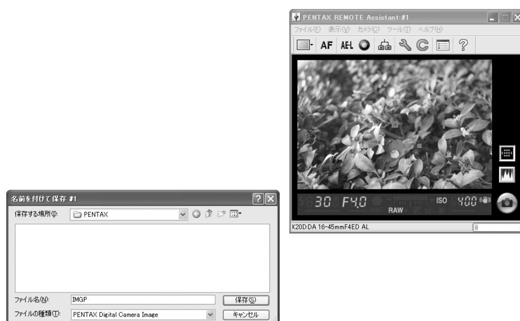
- パソコンとカメラを接続している間は、オートパワーオフは働きません。
  パソコンとカメラを接続してPENTAX REMOTE Assistant 3を長時間使用する場合は、ACアダプターのご使用をお勧めします。
- カメラの設置場所を確認しましょう。
  カメラの遠隔操作を行いますので、被写体とパソコンの設置場所に応じてカメラの設置場所を確認し、パソコンと接続しやすい安定した場所にカメラを三脚などで固定してください。屋外での撮影やカメラ位置が頻繁に変わる撮影の場合は、ノートパソコンを使用すると便利です。
- 撮影した画像の保存場所と空き容量を確認しましょう。
  どの保存モードを利用する場合も、撮影した画像の保存場所をあらかじめ決めておき、その保存場所に十分な空き容量があることを確認しましょう。特にRAW形式またはRAW+形式で撮影する場合は、予備のハードディスクを用意しておくなど、十分に準備しておくことをお勧めします。

保存モード

PENTAX REMOTE Assistant 3を使って撮影した写真をパソコンに保存する方法には、次の3つがあります。

シングル撮影モード

1枚撮影するごとに保存場所を指定するモードです。
このモードを選択した状態で撮影すると、1枚撮影するごとに擬似ファインダースクリーンに撮影した画像が表示され、同時に「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。



「名前を付けて保存」ダイアログには、「オプション」ダイアログで設定した保存フォルダとファイル名が示されます。保存先のフォルダとファイル名をそれぞれ変更して保存することもできます。（p.51）

注意

- ［キャンセル］ボタンまたは☒をクリックして「名前を付けて保存」ダイアログを閉じると、撮影した画像は保存されないまま破棄されます。
- 「名前を付けて保存」ダイアログが表示された状態でカメラの電源がオフになると、撮影した画像は保存されないまま破棄されます。

バッファ選択モード

複数枚の画像を撮影してからまとめて保存したり、保存する画像を指定できるモードです。
このモードを選択した状態で撮影すると、「カメラバッファ」パネルが表示されます。撮影を続けると、1枚撮影するごとに「カメラバッファ」パネルに画像が追加されていきます。





「カメラバッファ」パネルの四辺もしくは四隅をドラッグすると、「カメラバッファ」パネルの大きさを変更することができます。

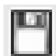
注意

- バッファ選択モードでは、撮影した画像はカメラ内のバッファメモリに一時保存されます。またパソコンに保存後も、カメラ内のバッファメモリからは破棄されません。そのため、カメラ内のバッファメモリがいっぱいになると、撮影が行えなくなります。パソコンに保存済の画像や、必要のない画像を適宜破棄してください。
- 「カメラバッファ」パネルに画像が表示された状態で、他の保存モード（シングル撮影モード、自動保存モード）に切り替えると、「カメラのバッファメモリがクリアされます。よろしいですか？」というダイアログが表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、「カメラバッファ」パネルに表示されている画像（カメラ内のバッファメモリ内の画像）は破棄されます。
- カメラの電源がオフになると、「カメラバッファ」パネルに表示されている画像（カメラ内のバッファメモリ内の画像）は破棄されます。

「カメラバッファ」パネル上の各サムネイルには、右上端にチェックボックスがあります。このチェックボックスをクリックしてを付けて選択すると、「カメラバッファ」パネルのツールボタンを使って、選択した画像に以下の操作が行えます。



ツールボタンのをクリックすると、「カメラバッファ」パネル上の全画像を選択することができます。

	選択した画像を保存します。画像ごとに「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。「名前を付けて保存」ダイアログには、「オプション」ダイアログで設定した保存フォルダとファイル名が示されますが、保存先のフォルダとファイル名をそれぞれ変更して保存することもできます。（p.51）
	選択した画像を破棄します。警告ダイアログが表示されるので、確認ののち［OK］ボタンをクリックします。

自動保存モード

撮影した画像があらかじめ設定しておいた保存場所に自動的に保存されるモードです。
保存フォルダとファイル名の命名規則は、「オプション」ダイアログで設定します。（p.51）

撮影

構図を確認する

撮影前の構図は、PENTAX REMOTE Assistant 3の擬似ファインダースクリーンでは確認できません。カメラ本体のファインダーで確認してください。

撮影条件を設定する

「撮影条件パネル」で露出・画像品質の設定や確認をすることができます。（p.30）

AF実行、AEロック、グリーンボタン

構図を確認したら、撮影の前に必要に応じて以下の操作を行ってください。

「カメラ」メニュー→「AF実行」を選択もしくはツールバーの AF（AF実行）をクリック	カメラのAF機能を作動させます。オートフォーカスモードで撮影する際に使用します。 オートフォーカスモードで被写体にレンズを向けてカメラのシャッターボタンを半押しまたは **AF** ボタンを押すのと同じです。 ピントを合わせると測距点が赤く表示されます。
「カメラ」メニュー→「AEロック」を選択もしくはツールバーの AE-L（AEロック）をクリック	カメラのAEロックをオン/オフします。 カメラの **AE-L** ボタンを押すのと同じです。
「カメラ」メニュー→「グリーンボタン」を選択もしくはツールバーの（グリーンボタン）をクリック	カメラの設定状態に応じて、カメラのグリーンボタンを押したのと同じ働きをします。

撮影する

「カメラ」メニュー→「レリーズ」を選択するか、リモートレリーズボタンをクリックすると、アクティブなカメラのシャッターが切れ、撮影が行われます。

「カメラ」メニュー→「レリーズ」を選択またはリモートレリーズボタンをクリックした場合のカメラのシャッター動作は、カメラの設定状況によって異なります。詳しくはカメラの使用説明書および本書の「撮影」の「保存モード」（p.26）および「「オプション」ダイアログ」（p.51）を参照してください。

撮影条件パネル

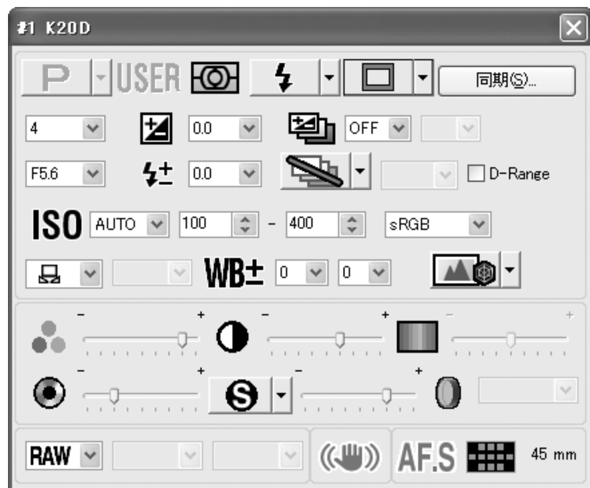
ここでは、「撮影条件パネル」の設定項目について説明します。

「撮影条件パネル」とは

撮影に関するカメラの設定内容を確認して、必要に応じて変更することができます。
接続中のカメラ1台につき1枚のパネルが表示されます。

「撮影条件パネル」の表示／非表示

カメラを接続してPENTAX REMOTE Assistant 3を起動すると、接続しているカメラの「撮影条件パネル」が表示されます。
非表示にするときは、「表示」メニュー→「撮影条件パネル」を選択してチェックを外すか、パネル右上の☒をクリックします。
もう一度表示するときは、「表示」メニュー→「撮影条件パネル」を選択すると、「撮影条件パネル」ウィンドウが表示されます。





「撮影条件パネル」は接続中のカメラ1台につき1枚のウィンドウが表示されます。接続している他のカメラの「撮影条件パネル」を表示させるには、「表示」メニュー→「ボディ切り替え」でカメラを切り替えてから、「表示」メニュー→「撮影条件パネル」を選択します。（p.20）

撮影条件項目

「撮影条件パネル」では現在のカメラ本体の設定を表示します。また、変更できる項目については、変更した設定がカメラ本体に反映されます。

露出モード	カメラのモードダイヤルが **USER** のときのみアクティブに表示され、変更できます。
測光方式	PENTAX REMOTE Assistant 3では設定を変更できません。
ストロボモード	撮影モードに応じて変更できます。カメラ本体の内蔵ストロボがポップアップしていなくても、設定することができます。ドライブモードが（3秒後レリーズ）のときは、W（ワイヤレス）は選択できません。
ドライブモード	変更できます。ストロボモードがW（ワイヤレス）のときに（3秒後レリーズ）を選択すると、ストロボモードは（強制発光）となります。 露出モードが **B**（バルブ）のときは、（連続撮影）は選択できません。 *K20D* 接続時、（高速連写）は選択できません。
同期	パソコンに複数台のカメラを接続している場合、現在の撮影条件を他のカメラへコピーできます。 ［同期］ボタンをクリックすると、「撮影条件の同期」ダイアログが表示されるので、同じ条件にしたいカメラにチェックを入れ［OK］ボタンをクリックします。
シャッター速度	撮影モードが **P**（ハイパープログラム）／**Tv**（シャッター優先）／**TAv**（シャッター＆絞り優先）／**M**（ハイパーマニュアル）のときにアクティブに表示され、変更できます。
絞り値	撮影モードが **P**（ハイパープログラム）／**Av**（絞り優先）／**TAv**（シャッター＆絞り優先）／**M**（ハイパーマニュアル）／**B**（バルブ）／**X**（ストロボ同調速度）のときにアクティブに表示され、変更できます。
露出補正	**P**（ハイパープログラム）／**Sv**（感度優先）／**Tv**（シャッター優先）／**Av**（絞り優先）／**TAv**（シャッター＆絞り優先）のときにアクティブに表示され、変更できます。

ストロボ光量補正	撮影モードが■（グリーン）以外のときにアクティブに表示され、変更できます。
露出ブラケット	撮影モードが■（グリーン）／**B**（バルブ）以外のときにアクティブに表示され、変更できます。 ブラケット撮影枚数、ステップ幅を設定します。
拡張ブラケット	撮影モードが■（グリーン）以外のときにアクティブに表示され、変更できます。 ブラケット撮影の種類と、ステップ幅を設定します。ブラケット撮影の種類としては、「ホワイトバランス」「シャープネス」「彩度」「コントラスト」「色相」を選択できます。ただし、「色相」は*K20D*の接続時のみ選択可能です。また、「彩度」と「色相」は、画像仕上が「モノトーン」に設定されているときは選択できません。 設定できるステップ幅は、接続されているカメラによって異なります。
ダイナミックレンジ拡大	*K20D*接続時は、「D-Range」をチェックすると、ダイナミックレンジ拡大処理が有効になります。
ISO感度設定	ISO AUTO、ISO100～3200で変更できます（「カスタムファンクション」ダイアログの設定により、6400まで拡張可能）。ただし、**B**（バルブ）のときまたは*K10D*接続時は、上限が1600になります。また、**TAv**（シャッター＆絞り優先）のときはISO AUTOのみ選択可能です。 露出モードが**M**（ハイパーマニュアル）、**B**（バルブ）、**X**（ストロボ同調速度）のときは、ISO AUTOを選択できません。 露出モードの選択、および「カスタムファンクション」ダイアログの「ISO感度ステップ」の設定によって、「ISO感度設定」のプルダウンメニューに表示される選択肢は異なります。 ISO AUTOのときは、自動調整範囲の上限／下限を設定できます。
色空間	sRGB、AdobeRGBが設定できます。 *K10D*接続時は、カスタムファンクション設定がオフのときは変更できません。
ホワイトバランス	変更できます。 色温度を指定したときは、色温度リストがアクティブに表示されるのでリストを選択して設定します。 GM補正・BA補正で微調整も可能です。ホワイトバランスがオートのときに微調整をする場合は、「カスタムファンクション」ダイアログの「AWB時の微調整」を「許可」に設定します。

画像仕上	変更できます。 K20D接続時は、「鮮やか」「ナチュラル」「人物」「風景」「雅（MIYABI）」「モノトーン」から選択できます。「モノトーン」を選択したときは、「彩度」と「色相」の代わりに「調色」と「フィルタ効果」が有効になります。 K10D接続時は、「鮮やか」「ナチュラル」のいずれかを選択してください。
彩度	変更できます（「画像仕上」が「モノトーン」に設定されている場合を除く）。 選択できるステップ数は、接続されているカメラによって異なります。
色相	K20D接続時は、変更できます（「画像仕上」が「モノトーン」に設定されている場合を除く）。
コントラスト	変更できます。 選択できるステップ数は、接続されているカメラによって異なります。
ファインシャープネス	K20D接続時は、S（シャープネス）アイコンをクリックすると、FS（ファインシャープネス）に切り替えることができます。
シャープネス	変更できます。 選択できるステップ数は、接続されているカメラによって異なります。
調色	K20D接続時で「画像仕上」が「モノトーン」に設定されている場合、変更できます。
フィルタ効果	K20D接続時で「画像仕上」が「モノトーン」に設定されている場合、変更できます。
画像保存モード	記録形式／記録サイズ／JPEG画質を変更できます。
Shake Reduction	PENTAX REMOTE Assistant 3では設定を変更できません。
AFモード	PENTAX REMOTE Assistant 3では設定を変更できません。
測距点 （ピント合わせ位置）	PENTAX REMOTE Assistant 3では設定を変更できません。
レンズ焦点距離	PENTAX REMOTE Assistant 3では設定を変更できません。



- ［同期］ボタンをクリックしても、コピー先のカメラの機種や状態によっては、撮影条件の一部がコピーできないことがあります。
- 各項目の詳細については、カメラの使用説明書を参照してください。

拡張撮影－インターバル/タイマー

ここでは、インターバル/タイマーの撮影方法、設定項目について説明します。

インターバル/タイマー撮影とは

指定した時間間隔で複数枚を撮影するインターバル撮影、指定した時間に撮影を開始するタイマー撮影を行うことができます。

［実行］ボタンをクリックすると、設定した内容でインターバル撮影/タイマー撮影を行うことができます。
キャンセルするときは、［キャンセル］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の☒をクリックします。



インターバル撮影時、AF-Sでピントが合わないなどによって撮影できなかったコマがある場合は、インターバル撮影終了時に「撮影失敗コマ数」として表示されます。

「インターバル/タイマー」ダイアログの表示

「ツール」メニュー→「拡張撮影」→「インターバル/タイマー」を選択すると、「インターバル/タイマー」ダイアログが表示されます。



撮影開始までの時間

[実行] ボタンをクリックしてから撮影を開始するまでの時間（タイマー）を設定します。
設定できる時間は0秒～12時間0分0秒です。

撮影間隔

「撮影枚数」を「2」以上に設定したとき（インターバル撮影時）の時間間隔を設定します。
設定できる時間は0秒～24時間0分0秒です。



撮影間隔をごく短い時間に設定した場合や、露光時間より短く設定した場合は、実際に撮影する間隔は設定時間より長くなることがあります。

撮影枚数

撮影する枚数を設定します。「1」に設定すると「撮影間隔」の設定は無効となり、タイマー撮影として機能します。
設定できる枚数は1～99枚です。

一斉レリーズ

「一斉レリーズ」にチェックを入れると、接続されているすべてのカメラに対して同時に撮影を行うことができます。



- インターバル / タイマー撮影では、「レリーズ連動」の設定は無効になります。パソコンに接続されている複数のカメラのうち、任意のカメラを「レリーズ連動」で指定していても、「一斉レリーズ」にチェックを入れていない場合は、アクティブなカメラ一台のみで撮影が行われます。
- 「一斉レリーズ」では、パソコンに接続されている複数のカメラのうち、任意のカメラだけを対象とすることはできません。

拡張撮影－バルブタイマー

ここでは、バルブタイマーの撮影方法、設定項目について説明します。

バルブタイマー撮影とは

指定した時間間隔で複数枚を長時間露光で撮影することができます。
1台のカメラで撮影する「単体撮影」モードと複数台のカメラで撮影する「複数台撮影」モードが搭載されています。
「単体撮影」モードの場合は、複数枚撮影した画像の重ね合わせ（コンポジット）の設定も行えます。

「単体撮影」タブで［実行］ボタンをクリックすると、選択しているカメラでバルブタイマー撮影を行うことができます。
「複数台撮影」タブで［実行］ボタンをクリックすると、接続しているすべてのカメラで同時にバルブタイマー撮影を行うことができます。
キャンセルするときは、［キャンセル］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の☒をクリックします。



- バルブタイマー撮影の「単体撮影」モードでは、「レリーズ連動」の設定は無効になります。パソコンに接続されている複数のカメラのうち、任意のカメラを「レリーズ連動」で指定していても、アクティブなカメラ1台のみで撮影が行われます。
- バルブタイマー撮影の「複数台撮影」では、パソコンに接続されているすべてのカメラが対象となります。パソコンに接続されている複数のカメラのうち、任意のカメラだけを対象とすることはできません。
- ［複数台撮影］を利用するには、パソコンに接続されているすべてのカメラの露出モードを、あらかじめ**B**（バルブ）に設定しておく必要があります。

「バルブタイマー」ダイアログの表示

「ツール」メニュー→「拡張撮影」→「バルブタイマー」を選択すると、「バルブタイマー」ダイアログが表示されます。



撮影開始までの時間

[実行] ボタンをクリックしてから撮影を開始するまでの時間（タイマー）を設定します。
設定できる時間は0秒～12時間0分0秒です。

撮影間隔

「撮影枚数」を「2」以上に設定したときの時間間隔を設定します。
設定できる時間は0秒～60分0秒です。



「カスタムファンクション」ダイアログの「ノイズリダクション」が「オン」の場合は、画像処理が終わるまで次の撮影が行われません。そのため、実際に撮影する間隔は「撮影間隔」の設定以上かかる場合があります。

撮影枚数

撮影する枚数を設定します。「1」に設定すると「撮影間隔」「二コマ目以降の露光時間増加分」「コンポジット」の設定は無効となります。
設定できる枚数は1～9枚です。

露光時間

「単体撮影」モードでは「一コマ目の露光時間」「二コマ目以降の露光時間増加分」を設定します。
「複数台撮影」モードでは「露光時間」を設定します。
「一コマ目の露光時間」または「露光時間」で設定できる時間は1秒～60分0秒です。

二コマ目以降の露光時間増加分

二コマ目からどれだけ露光時間を増加させるかを設定します。

無し	前回の露光時間と同じ一定時間で撮影します。
2の等比	前回の露光時間の倍の時間で撮影します。
等差	前回の露光時間に設定値分を足した時間で撮影します。

注意

露光時間は最長で60分です。「2の等比」または「等差」を選択した場合、「撮影枚数」で設定した枚数を撮影する途中で露光時間が60分を超える設定は行えません。

コンポジット

撮影画像を重ね合わせて合成するかどうかを設定します。

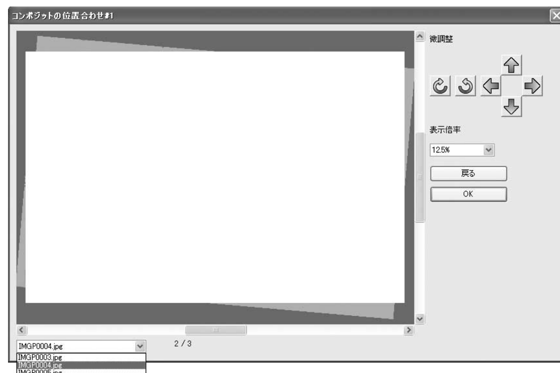
しない	重ね合わせを行いません。
単純加算	撮影した画像を、画素ごとのRGB値を加算する方法で合成します。重ね合わせる画像の枚数が多いほど、明るい画像になります。
加算平均	撮影した画像を、画素ごとに加算したRGB値を撮影枚数で割って各画素のRGB値を決定する方法で、合成します。重ね合わせる各画像の明度を平均した明るさの画像になります。



「単純加算」「加算平均」を選択した場合、「二コマ目以降の露光時間増加分」の設定は無効となり、露光時間は「一コマ目の露光時間」の設定値で一定となります。

位置合わせ

「単純加算」「加算平均」を選択した場合に画像の位置合わせをするかどうかを設定します。
「する」を選択すると、「撮影枚数」で設定した枚数の撮影後に「コンポジットの位置合わせ」ダイアログが表示され、最初に撮影されたもの以外の各撮影画像の角度や上下左右の位置を微調整できます。
位置の微調整は、プレビュー画像上の任意の2点をクリックして行います。撮影した最初の画像上で2点を表示したのち、「コンポジットの位置合わせ」ダイアログ左下にあるドロップダウンリストで画像を切り替えて同様に2点を表示させると、点を表示させた位置が自動的に重なるように画像の位置が調整されます。
またダイアログ右側にある各ボタンで、角度と上下左右の位置を微調整することもできます。
調整後に［OK］ボタンをクリックすると、重ね合わせた画像が1枚の画像として保存されます。
（実際にはプレビュー画像が表示されます。）



「詳細設定」／「カメラ日時設定」ダイアログ

ここでは、「詳細設定」ダイアログおよび「カメラ日時設定」ダイアログの設定項目について説明します。

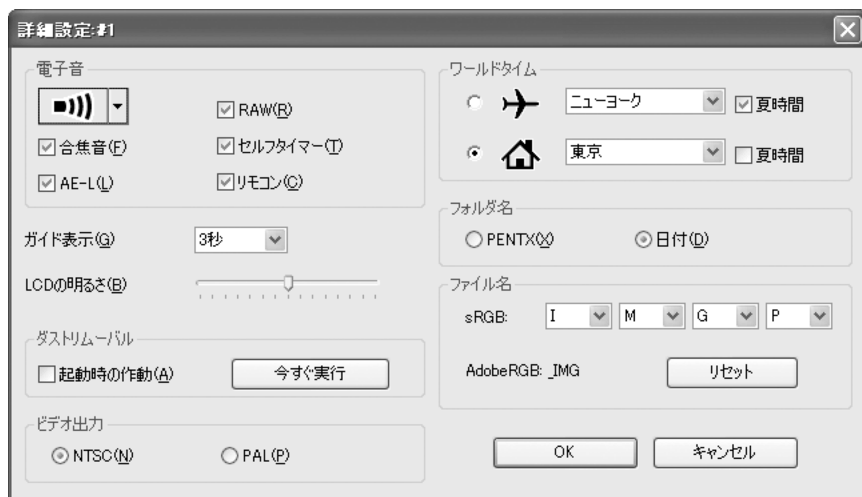
「詳細設定」ダイアログとは

カメラの「詳細設定」メニューのうち、電子音／ワールドタイム／ガイド表示／LCDの明るさ／ビデオ出力／フォルダ名／ダストリムーバル／ファイル名の設定を変更することができます。

［OK］ボタンをクリックすると、設定した内容がカメラ本体に反映されます。
キャンセルするときは、［キャンセル］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の☒をクリックします。

「詳細設定」ダイアログの表示

「カメラ」メニュー→「詳細設定」を選択すると、「詳細設定」ダイアログが表示されます。



詳細設定項目

「詳細設定」ダイアログでは現在のカメラ本体の設定を表示します。また、［OK］ボタンをクリックすると変更した設定がカメラ本体に反映されます。

電子音	電子音を鳴らすかどうかを設定します。個別の設定をする場合は、鳴らしたい項目にチェックを入れます。
ワールドタイム	✈（目的地）と⌂（現在地）で有効にする方のラジオボタンをクリックします。 夏時間を設定する場合は、「夏時間」にチェックを入れます。
ガイド表示	ガイドを表示する時間をドロップダウンリストから選択します。
LCDの明るさ	カメラ本体の液晶モニターの明るさを調整します。
ビデオ出力	有効にする方のラジオボタンをクリックします。 K20Dでは、「ワールドタイム」の設定に応じて、自動的に適切な方が選択されます。
フォルダ名	カメラ本体のフォルダ名を設定します。 有効にする方のラジオボタンをクリックします。
ダストリムーバル	［今すぐ実行］ボタンをクリックすると、ダストリムーバルを直接実行できます。 カメラの電源をオンにする度に作動させたい場合は、「起動時の作動」にチェックを入れます。
ファイル名	sRGBで撮影される画像のファイル名の、先頭4文字を指定します（K20D接続時のみ指定可能）。1文字ずつ、ドロップダウンリストから選択できます。



各項目の詳細については、カメラの使用説明書を参照してください。

「カメラ日時設定」ダイアログ

カメラの日時設定を行います。
「カメラ」メニュー→「カメラ日時設定」を選択すると、「カメラ日時設定」ダイアログが表示されます。



表示スタイル／日付／時刻を設定し、［OK］ボタンをクリックすると、設定した内容がカメラ本体に反映されます。
キャンセルするときは、［キャンセル］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の☒をクリックします。



各項目の詳細については、カメラの使用説明書を参照してください。

「USERモード登録」ダイアログ

ここでは、「USERモード登録」ダイアログの設定項目について説明します。

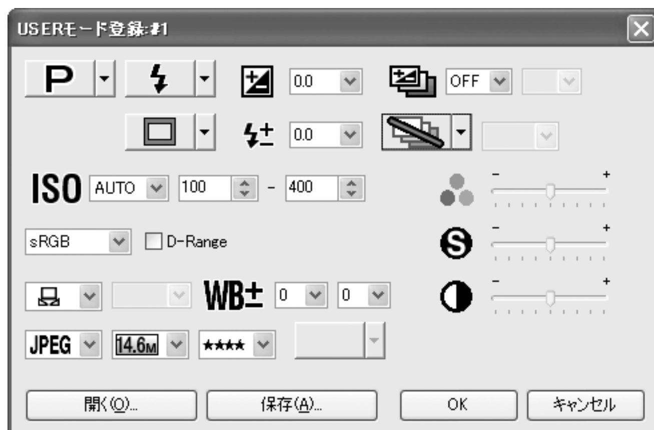
「USERモード登録」ダイアログとは

カメラのUSERモードの設定内容を必要に応じて変更することができます。
また、設定内容をパソコンに保存したり、保存したファイルから読み込むこともできます。

［OK］ボタンをクリックすると、設定した内容がカメラ本体に反映されます。
キャンセルするときは、［キャンセル］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の☒をクリックします。

「USERモード登録」ダイアログの表示

「カメラ」メニュー→「USERモード登録」を選択すると、「USERモード登録」ダイアログが表示されます。



USERモード登録設定項目

「USERモード設定」ダイアログで設定できる項目は、以下のとおりです。

設定項目一覧			
露出モード	ストロボモード	露出補正	露出ブラケット
ドライブモード	ストロボ光量補正	拡張ブラケット	ISO感度
感度自動補正範囲およびダイナミックレンジ拡大	色空間	ホワイトバランス	ホワイトバランス補正
記録形式	記録サイズ	JPEG画質	画像仕上
彩度	シャープネス	コントラスト	



- 各項目の詳細については、カメラの使用説明書を参照してください。
- カメラ本体のモードダイヤルがUSERの場合は、「USERモード設定」ダイアログで変更した設定が「撮影条件パネル」にも反映されます。
- 拡張ブラケットの設定は、K20D接続時は「彩度」「コントラスト」「シャープネス」「色相」の設定が4段階になります。
- 「ダイナミックレンジ拡大」および「色空間」は、K10D 接続時は無効になります。
- 「画像仕上」「彩度」「シャープネス」「コントラスト」は、K20D接続時は無効になります。

設定内容をパソコンに保存する

［保存］ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
現在の「USERモード登録」ダイアログの設定をパソコンに保存することができます。

USERモード設定値ファイルを読み込む

［開く］ボタンをクリックすると、「開く」ダイアログが表示されます。パソコンに保存してあるUSERモード設定ファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、保存内容が「USERモード登録」ダイアログに反映されます。

「カスタムファンクション」ダイアログ

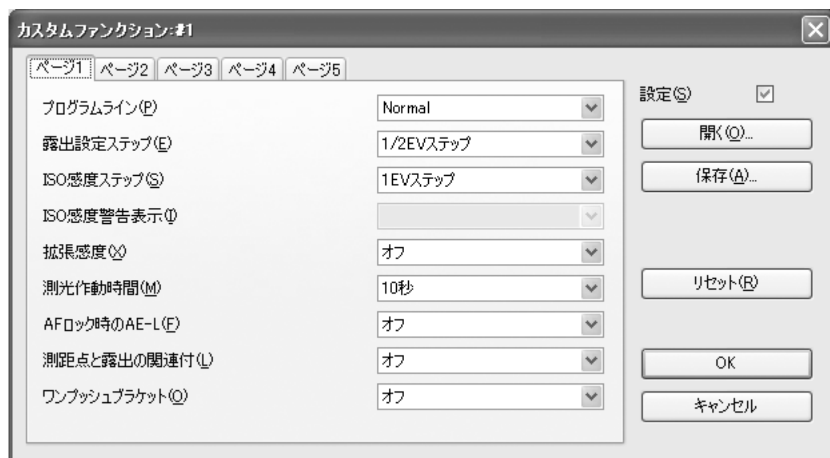
ここでは、「カスタムファンクション」ダイアログの設定項目について説明します。

「カスタムファンクション」ダイアログとは

カメラの「カスタム」メニューの設定内容を確認して、必要に応じて変更することができます。また、設定内容をパソコンに保存したり、保存したファイルから読み込むこともできます。

「カスタムファンクション」ダイアログの表示

「カメラ」メニュー→「カスタムファンクション」を選択すると、「カスタムファンクション」ダイアログが表示されます。



カスタムファンクション設定項目

「カスタムファンクション」ダイアログでは現在のカメラ本体の設定を表示します。また、［OK］ボタンをクリックすると変更した設定がカメラ本体に反映されます。
「カスタムファンクション」ダイアログの設定項目は「ページ1」～「ページ5」のタブに分かれています。

ページ1	プログラムライン／露出設定ステップ／ISO感度ステップ／ISO感度警告表示*／拡張感度**／測光作動時間／AFロック時のAE-L／測距点と露出の関連付／ワンプッシュブラケット**
ページ2	ブラケット撮影順／連動外の自動補正／ストロボ発光時のWB／AWB時の微調整*／WBの光源調整範囲**／AFボタンの機能／シャッター半押しのAF／スーパーインポーズ／リモコン時のAF
ページ3	長秒時NR／高感度NR**／色空間／色温度ステップ／**P**時の電子ダイヤル／**Sv**時の電子ダイヤル／**Tv**時の電子ダイヤル／**Av**時の電子ダイヤル／**TAv**, **M**時の電子ダイヤル**
ページ4	**B**, **X**時の電子ダイヤル**／**TAv**, **M**時のグリーンボタン／ワンタッチRAW+*／表示パネルの照明／充電中のレリーズ／ワイヤレス時の発光／プレビュー方式／撮影可能枚数表示*／ISO感度常時表示**
ページ5	拡大再生の開始倍率*／画像の自動回転／回転情報の記録／キャッチインフォーカス**／絞りリングの使用



- *の項目はK20D接続時無効、**の項目はK20D接続時のみ有効となります。
- 各項目の詳細については、カメラの使用説明書を参照してください。
- 各設定項目ごとの設定オプションは、接続している機種によって異なる場合があります。

カスタムファンクションの設定内容を変更する

設定内容を変更するには、各項目のプルダウンメニューから変更内容を選択します。
メニューがグレーになって変更できないときは、「設定」にチェックを入れてカスタムファンクションを有効にしてください。

［OK］ボタンをクリックすると、設定した内容がカメラ本体に反映されます。
キャンセルするときは、［キャンセル］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の☒をクリックします。

カスタムファンクションの設定内容をパソコンに保存する

［保存］ボタンをクリックすると、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。
現在の「カスタムファンクション」ダイアログの設定をパソコンに保存することができます。

パソコンに保存したカスタムファンクションの設定ファイルを読み込む

［開く］ボタンをクリックすると、「開く」ダイアログが表示されます。パソコンに保存してあるカスタムファンクション設定ファイルを選択して［開く］ボタンをクリックすると、保存内容が「カスタムファンクション」ダイアログに反映されます。

カスタムファンクションの設定内容をリセットする

カスタムファンクションの設定内容を初期値に戻したいときは、［リセット］ボタンをクリックします。



カメラ本体に保存されている「**C** カスタム」メニューの設定内容も、すべて初期状態に戻ります。

「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログ

ここでは、「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログの設定項目について説明します。

「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログとは

マニュアルホワイトバランス測定とは、撮影する照明状況に合わせて、任意の箇所の白色を測定して色の基準とするものです。
「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログを使用して、パソコン側でマニュアルホワイトバランスの測定をすることができます。
「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログを閉じるときは、［閉じる］ボタンをクリックするか、ダイアログ右上の⊠をクリックします。

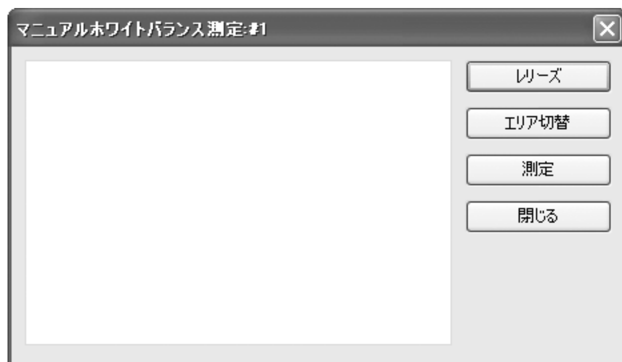
「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログの表示

「カメラ」メニュー→「マニュアルホワイトバランス測定」を選択すると、「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログが表示されます。



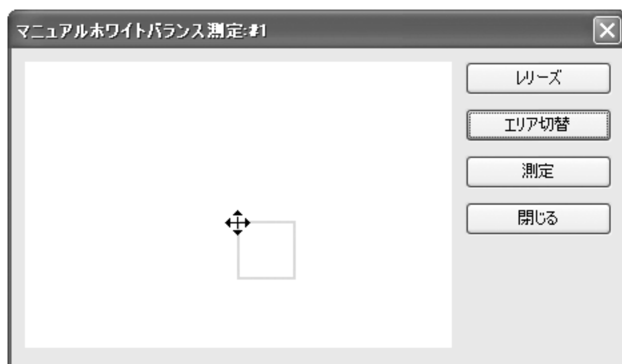
レリーズ

ホワイトバランスを調整したい照明下で、ファインダーに白い紙などを入れるか、白くしたい場所を被写体に選びます。
［レリーズ］ボタンをクリックすると、「マニュアルホワイトバランス測定」ダイアログにファインダー画像が表示されます。



エリア切替

［エリア切替］ボタンをクリックすると、測定するエリアを全体／スポットに切り替えることができます。
スポットにした場合は、測定したいエリアをマウスドラッグかカーソルキーで指定します。



測定

測定するエリアを決定した後、［測定］ボタンをクリックすると、ホワイトバランス測定が行われます。
「マニュアルホワイトバランス測定に成功しました。」と表示されると、カメラにホワイトバランス設定が反映されます。



「マニュアルホワイトバランス測定に失敗しました。」と表示された場合は、測定するエリア・被写体を変えて測定をやり直してください。

「オプション」ダイアログ

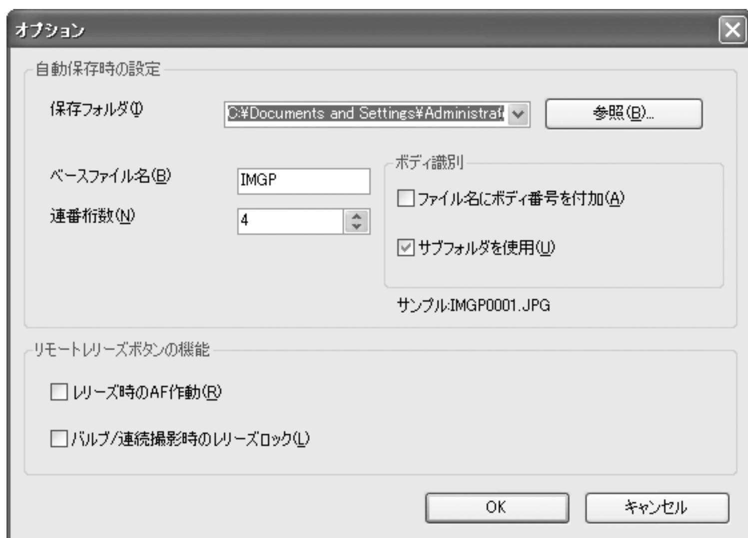
ここでは、「オプション」ダイアログの設定項目について説明します。

「オプション」ダイアログとは

「オプション」ダイアログでは、自動保存モードでの画像ファイル保存規則設定、メインパネルのレリーズボタンの機能設定をすることができます。

「オプション」ダイアログの表示

「ツール」メニュー→「オプション」を選択すると、「オプション」ダイアログが表示されます。



自動保存時の設定

自動保存モードでの画像ファイルの保存先、ファイル名の命名規則を設定します。

保存先を設定する

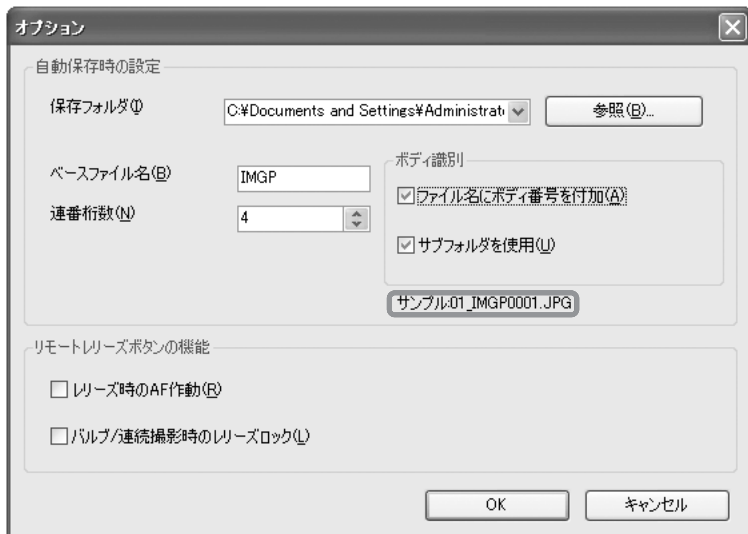
［参照］ボタンをクリックすると、パソコンのディレクトリツリーが表示されるので、保存先のフォルダを選択してください。新規フォルダを作成することもできます。

ファイル名の命名規則を設定する

自動保存モードでは、撮影した画像は以下の設定に基づいて連番のファイル名で保存されます。

ベースファイル名	ファイル名の基本となる文字列を設定します。 任意の文字列を入力してください。
連番桁数	連番の桁数を設定します。
ファイル名に ボディ番号を付加	チェックを入れると、ファイル名の先頭にボディ番号が2桁で付きます。
サブフォルダを使用	チェックを入れると、保存フォルダの下にボディ番号が付いたサブフォルダが作成され、カメラごとに画像が保存されます。

現在の設定が、「サンプル：」に表示されるので確認することができます。



ファイル名の構成は、以下の通りです。

01_ABCD0001.JPG

01_	ABCD	0001	.JPG
ボディ番号	ベースファイル名	連番	拡張子

リモートレリーズボタンの機能

メインパネルのレリーズボタン（または「カメラ」メニュー→「レリーズ」）の機能を設定します。（p.16）

レリーズ時のAF作動	チェックを入れると、レリーズボタンをクリックしたとき（または「カメラ」メニュー→「レリーズ」を選択したとき）にAFが作動してから撮影します。
バルブ/連続撮影時のレリーズロック	チェックを入れると、レリーズボタンを1回クリックしたとき（または「カメラ」メニュー→「レリーズ」を選択したとき）に撮影が開始され、もう一度クリック（選択）したときに撮影が終了します。 連続撮影／バルブ撮影時にマウスから手を離しても、シャッターボタンを全押しし続けたときと同様の動作を維持できます。

メッセージ一覧

ここでは、各種メッセージについて説明します。

メッセージ	内容
ボディ番号が重複しています。仮番号を設定の上、ボディ番号設定ダイアログを表示します。	起動時・カメラ接続時に各カメラのボディ番号が重複した場合に表示されます。 「OK」をクリックすると、ボディ番号設定ダイアログが表示されるので、ボディ番号を設定し直してください。
非合焦のため撮影できませんでした。	カメラのAFモードがAF.Sのときに、ピントが合わなくてレリーズできなかった場合に表示されます。 「AF実行」でピントを合わせ直すか、マニュアルでピントを合わせてからレリーズし直してください。
内蔵ストロボの充電が未完了のためレリーズできませんでした。	連続撮影中やインターバル撮影中などで、内蔵ストロボの充電が間に合わなくてレリーズできなかった場合に表示されます。 「カスタムファンクション」ダイアログの「充電中のレリーズ」を「オン」にするか、充電完了するまでの間隔を空けて撮影してください。
レリーズできませんでした。	上記のピントが合わない／充電が未完了以外の要因でレリーズできなかった場合に表示されます。 カメラ本体やPENTAX REMOTE Assistantの設定を確認してください。
カメラ#XXが切断されました。	接続中のカメラとの通信ができなくなった場合に表示されます。 USBケーブル、カメラの電源を確認してください。
カメラのバッファメモリがクリアされます。よろしいですか？	「バッファ選択モード」で、カメラのバッファメモリに画像が残っているときに、他の保存モードを選択しようとすると表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、カメラのバッファメモリがクリアされ、画像が破棄されます。
指定されたカメラバッファ画像をクリアします。よろしいですか？	「バッファ選択モード」で、選択した画像を破棄しようとすると表示されます。 ［OK］ボタンをクリックすると、カメラのバッファメモリがクリアされ、画像が破棄されます。
マニュアルホワイトバランス測定に成功しました。	マニュアルホワイトバランス測定に成功すると表示されます。
マニュアルホワイトバランス測定に失敗しました。	マニュアルホワイトバランス測定に失敗すると表示されます。 ［OK］ボタンをクリックして、マニュアルホワイトバランス測定をやり直してください。

メッセージ	内容
カメラ#XXを切断します。よろしいですか？	「切断」を選択したときや、メインパネルを閉じようとすると表示されます。 切断するときは、「OK」をクリックしてください。

メモ

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックスホームページアドレス **http://www.pentax.co.jp/**

[弊社製品に関するお問い合わせ]
お客様相談センター



ナビダイヤル　0570-001313
（市内通話料金でご利用いただけます。）

携帯電話、PHS、IP電話の方は、右記の電話番号をご利用ください。**☎03-3960-3200（代）**

〒174-8639　東京都板橋区前野町2-36-9

営業時間　午前9：00～午後6：00
（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[ショールーム・写真展・修理受付]
ペンタックスフォーラム **☎03-3348-2941（代）**

〒163-0690　東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービルMB（中地下1階）

営業時間　午前10：30～午後6：30

休業日　毎週火曜日、年末年始およびビル点検日



ペンタックス株式会社
〒 174-8639 東京都板橋区前野町 2-36-9

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

53300
01-200801
Printed in Philippines